

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 526

事務事業名	巡回補導事業
-------	--------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	社会教育課		
課長名	柳原 寅雄	内線	84-156
担当者名	上野 秀徳	内線	54-6405

基本目標		人を育むまち
政策	010304	文化の振興と生涯学習の充実
施策		青少年の健全育成
関連施策		

会計	1	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	5	青少年対策費
事業コード	030200	巡回補導事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内の青少年		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市内非行少年の減少、少年非行の抑止		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	大村市の青少年の非行防止のため、愛の声かけを中心とした補導活動を行う。 ①委嘱された全75名の補導委員が14のブロックに分かれ、それぞれブロックごとの計画補導を毎月2回、祭り開催時の特別補導を年に数回実施する。 ②新任研修会、全員研修会を計画的に実施し、補導技術の向上を図る。		
事業期間	昭和 46 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市社会教育振興費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 研修会参加者人数	計画値	120	120	120	120	H25及びH27は県レベルの研修会を大村市で開催
		実績値	179	132	195		
	達成度	%	149.2%	110.0%	162.5%		
	② 補導に参加した補導委員の延べ人数	計画値	800	800	800	800	
実績値		924	859	865			
達成度	%	115.5%	107.4%	108.1%			
成果指標	① 大村警察署管内の不良行為少年数	計画値					
		実績値	641	588	433		
	達成度	%					
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,691	2,670	2,720	2,779	3,187	3,187	3,187	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,691	2,670	2,720	2,779	3,187	3,187	3,187	
② 人件費(千円)	4,647	4,416	4,325	4,318	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.47	0.47	0.47	0.47	少年非行防止のために、主に少年補導委員を中心に補導活動を行う。	少年非行防止のために、主に少年補導委員を中心に補導活動を行う。	少年非行防止のために、主に少年補導委員を中心に補導活動を行う。	
時間外勤務(時間)	86	62	135	80				
嘱託等人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40				
フルコスト(①+②千円)	7,338	7,086	7,045	7,097				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	大村市少年補導委員連絡協議会の各幹事を通して補導への参加を徹底してもらい、補導に参加した延べ人数は昨年度よりも若干上回った。 研修会については、補導委員の意見により内容を決定し、有意義な研修を行うことができた。
事業が抱える問題・課題等	関係機関との合同での特別補導を実施しているが、関係機関からも多くの参加が得られるよう協議していかなければならない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	青少年の健全育成のために、少年非行の芽を摘む補導活動は今後も必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	少年非行は、その本人及び家族の問題にとどまらず地域あるいは市全体の街づくりにかかわってくる。市は、学校や警察等関係機関と連携し現状分析や社会情勢も考慮したところで対策を練る必要がある。 また市が委嘱することで、補導委員の立場も明確になり、補導活動がより効果的になる。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	補導委員自体の活動は継続して行われており犯罪の抑止効果も期待でき、地道ではあるが補導活動は有効である。 補導活動により、少年の非行や犯罪を未然に防ぐことと同時に、愛の声かけによる大人と青少年の交流ができ、青少年の健全育成にも有効である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	女性にも補導委員として委嘱をし、平日の昼間などの活動を行っている。また、特別補導では、PTAなどの組織とも協働しており、女性の参加も多い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最低限の経費を計上しており、これ以上の削減はできない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	引き続き、補導委員の資質向上に努める研修会へ、多くの参加が得られるよう呼びかけるとともに、研修内容を充実させる。 また、定例補導、特別補導へもより多くの参加が得られるよう呼びかける。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	青少年の非行被害防止に寄与し、健全育成が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。